

アーマード・インフイ
ニット・ストラトス 黒
鉄の山猫

銭湯妖精 島風

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

インフィニット・ストラトス、通称IS

本来、宇宙《ソラ》を羽撃く筈だったそれは既存の兵器を上回る超兵器へと身を落と
してしまった

これは、とあるISに纏わる話である

目次

始まりの硝煙

1

始まりの硝煙

蒼く透き通る空を駆ける黒鉄が1つ、蒼に白い雲を引きながら飛んで行く

「『おはようございます、作戦エリアまで残り5分となりました。良い夢は見られましたか?』」

「『ああ、良い夢を見た・・・多分』」

ノイズの含まれない機械的な音声に黒鉄の中から少女は答える

少女の身に纏う黒鉄、それはISと呼ばれるマルチフォームスーツ

その背に、少女の身に纏うISの2倍は有る長い輸送装置を身に付けて空を行く

「『VOB使用限界及び作戦エリアまで残り2分、目標を視認できますか?』」

「『問題無く視界に入った、いつでも行ける』」

ISは自らが動かしたい様に動かす事が出来る

イメージが、その挙動へダイレクトに反映される

故に、動かすのは誰にでも出来る

だが、戦闘行動を行うなら才能が必要とされる

『間も無くVOB使用限界です、御武運を』

『ああ、直ぐに終わる・・・終わらせる』

黒鉄が背負っていた輸送装置が黒鉄から切り離され空中で数百〜数千の部品へと変わって行き

黒鉄を纏う少女は、その両の腕にバトルライフルを携え獲物を狩らんと音を超える

『行くぞ木偶人形・・・恐れるな死ぬ時間が来ただけだ』

彼女の両手に収まるバトルライフルから放たれた銃弾《キバ》が人が纏うには歪なIS《エモノ》へと突き刺さり、その身を削る

『コレを壊す《コロス》のは何回めだったか・・・3桁を超えてから数えるのを止めてしまったからな・・・』

歪なIS、ゴーレムIと名付けられたISは、見ただけで歪さが分かる程に興味が悪い

ゴリラを無理矢理に機械化した様なバランスの悪さ

見た目に寄らず俊敏な挙動

高火力のビーム兵器と、幼稚なAI

ISは人が纏わねば使えないと言う常識を覆した無人機、それがゴーレム

『少しは成長したかと思つたが、期待外れだったな』

少女は散々穴だらけにしたゴーレムⅠへ最後の一撃でゴーレムに搭載されていたコアを破壊し、撃破する

ⅠSはⅠSコアが無ければ動かす事が出来ない

それは無人機でも変わらない

『さて、もうⅠ匹がアリーナに入ってしまったしな・・・怒られるのは御免だな』

少女はポツリ呟き眼下のアリーナで少年少女と戦うゴーレムⅠへと急降下してゆく

『アサルトアーマーが手っ取り早いが使ったら2人も吹っ飛ばしかねないな・・・やれやれ』

少女は黒鉄の内で微かに笑む

『やはり戦いの中になにか、私の存在する場所はない・・・自由に生き、理不尽に死ぬ。それが私に相応しい、だろうか？ゴーレム』

少女はゴーレムに問う

お前は正しいかと

私は正しいかと

お前は間違っているかと

私は間違っているかと

少女は、造られた少女は、自分を産んだ母の為に、母の願いの為に、I S 《テキ》を壊す 《コロス》